



アドリンク

ネットにおける誹謗中傷の拡大を防ぎ、 風評被害のリスクに対処する

インターネットを舞台に、あらゆる情報が瞬時に世界中に広がる時代。ブログやツイッター、2ちゃんねるなどの匿名掲示板の影響力は、ますます強まっている。時には、誹謗中傷のようなネガティブ情報が拡散し、企業に不利益をもたらすこともある。こうした事態を放置すれば、損失は増えるばかりだろう。そんなときのための対策を、アドリンクはサービスとして提供している。

いまや、あらゆる情報が瞬時に世界中を駆け巡る時代である。この情報環境を追い風とするか、それとも逆風とするかは、企業にとって極めて重要なテーマだ。とりわけ、風評や誹謗中傷などについては、その対処を誤れば大きな損失を招くことがある。インターネット上のデジタル情報は簡単に複製される。ネガティブな情報は面白おかしく取り上げられて増殖することも多いだけに、早期の対策が求められる。ネットワーク上の悪質な情報をすべて取り除くのは、どんなに万能なセキュリティ製品でも不可能だ。この分野で、ネット中傷対策などのサービスを提供しているのが、アドリンクである。

同社がこのサービスを始めたのは2009年頃。その経緯について、同社代表取締役社長の
大和田渉氏はこう説明する。

「当社はインターネット上のマーケティングに関する事業を行っています。インターネット広告やSEOなどのサービスを展開していますが、あるとき、『ネット上の中傷をなんとかしてほしい』という要望を受けました。それをきっかけに、このサービスを当社のメニューに加えたの

企業が陥る風評被害の流れ

